



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン：外務省声明「イスラエルとの関係正常化の否定」 (8月28日 現地各紙)

8月28日付現地各紙は、バハレーン、カタル、UAE、モロッコがイスラエルのエルアル航空の領空通過、通商事務所及び大使館の開設、並びに旅券上にイスラエル査証のある旅行者の入国許可に原則的に合意したと、26日付英国ガーディアン紙が報じたことに関するバハレーン外務省の声明を、以下の通り報じている。

1. 外務省は、かかる報道内容は現実と無関係であることを確認する。
2. 外交、通商等を問わず、(イスラエルとの間には)いかなる関係も存在しない。
3. 本件に関するバハレーンの政策は明白であり、公平且つ包括的和平が達成されるまでイスラエルとの関係正常化はない。